

持出した情報の漏洩を防ぐ

InterSafe
SecureDevice

企業の重要データの持出し、見逃していませんか？

問題1

デバイス紛失



問題2

データ持出し



問題3

業務効率低下



! システム管理者が**データ持出し**に課題を抱えています！

問題1 社内でUSBメモリがどれだけ使われているか分からない

- ▶ 会社で購入したUSBメモリがどれだけあるか分からない
- ▶ USBを紛失しても報告がない
- ▶ 私物のUSBメモリを使用している

USBメモリの紛失が
分からない

問題2 誰でも社内のデータを持ち出せてしまっている

- ▶ 誰でもUSBメモリを使用できる
- ▶ どのデータを持ち出したのか分からない
- ▶ 持ち出したデータが今どうなっているか分からない

情報漏洩リスクが
非常に高い

問題3 USBメモリを使用禁止にすると業務効率が低下する

- ▶ 特定の業務でUSBメモリ使用する人がいる
- ▶ 会社で認めたUSBメモリは使用させたい
- ▶ USBメモリからのウィルス感染を防止したい

必要なUSBメモリが
使用できない

解決1 資産管理 社内で使用しているUSBメモリの本数、使用状況を把握

全ての使用USBメモリの把握が可能

不正利用の多い使用者をレポート

USBメモリにパスワードを設定

解決2 セキュリティ USBメモリ等の外部記録媒体を制御

PCへの書き出し、読み込みを制御可能

読み込みのみ許可も可能!

禁止した使用者にポップアップ通知

USBでのファイル操作を記録

解決3 セキュリティ 特定USBメモリのみ許可、USBメモリ使用時の制限設定

許可USBをシリアル単位で制御可能

特定のユーザに特定のUSBのみを許可することが可能

外出先での制限事項を設定可能

USBメモリ使用時、ネットワークや印刷を禁止することが可能

3つのウイルス対策機能を設定可能

- ウイルス侵入防止**
- 登録外PCからデータのコピーを禁止し、ウイルスの持込を防止
- 対策状況チェック**
- ウイルス対策ソフト未導入、パターンファイルが最新でないPCでは、使用禁止
- Autorunウイルス対策**
- Autorun.infファイルを自動的に元の状態へ復元

制限事項 (InterSafe SecureDevice / Professional共通)

Device Cat6とのご利用にあたり、一部制限事項となる機能があります。

- Device CATIにおいて、制限(書込禁止)と設定したセキュアデバイス(InterSafe SecureDeviceで作成したUSBメモリ)を使用した場合、操作上書き込みができません。
- セキュアデバイス(InterSafe SecureDeviceで作成したUSBメモリ)にコピーしたファイルのログはセキュアデバイスにてログに記録されますが、一部Device CATのログに記録されない操作があります。

詳細は、アルプスシステムインテグレーションまでお問い合わせください。

動作環境等は、各製品の販売元までお問い合わせください。

エムオーテックス株式会社 ● LanScopeCAT6/DeviceCAT開発・販売元
 TEL: 0120-968995 (平日 9:00~18:00) E-Mail: sales@motex.co.jp URL: www.motex.co.jp

アルプスシステムインテグレーション株式会社 ● InterSafe SecureDevice開発・販売元
 TEL: 03-5499-8045 (平日 10:00~17:00) E-Mail: ssg@alsi.co.jp URL: www.alsi.co.jp

※LanScope CATIはエムオーテックス株式会社の登録商標です。
 ※SecureDeviceSecureはアルプスシステムインテグレーション株式会社の登録商標です。
 ※ALSI(アルシー)はアルプスシステムインテグレーション株式会社のコミュニケーションブランドです。
 ※その他、記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
 ※本カタログは予告なく変更することがあります。画面・パッケージ等は実際の物と異なることがありますので予めご了承ください。

お問い合わせ、ご用命は下記へお申し付けください。